

海藻養殖で久米島の豊かな海を守るプロジェクト (久米島漁業協同組合)

プロジェクトの概要



- 沖縄県久米島町にある久米島漁業協同組合（久米島漁協）は、漁船漁業他、モズク養殖、アーサ養殖、クルマエビ養殖を行っています
- 久米島漁協では、モズク養殖推進やサンゴ礁保全による周辺海域全体の環境保全・気候変動対策の実施、モズクが伸びない原因であった食害魚の対策、産学連携でのモズク養殖に関する食育活動・出前授業にも取り組んでいます
- 久米島町は2021年1月に『久米島町ゼロ カーボンシティ宣言』を掲げており、2025年1月に久米島漁協と農林中央金庫が久米島町に訪問し久米島漁協でのJブルークレジット申請を説明、今後も地域一体での生態系保全を目指します
- 今回クレジットの取得により、モズクの回復・拡大に向けた食害魚対策強化、新たな連携や取組実施の検討を進め、気候変動緩和への貢献を図ります



久米島漁協での取り組み

(1) 食害魚対策



- モズクなどへの食害魚の駆除を実施
- 天然モズクや養殖モズク漁場周辺での潜水、ネットや刺網を利用した駆除により、食害魚からのモズク保護を実施

(2) 食育活動・出前授業



- 地域住民に対してモズク養殖啓蒙活動に取組み、地域一体の活動として推進
- 2024/11の漁協主催「おさかな祭り」にて農林中央金庫とともに地元小学生向け課外授業を開催し、ブルーカーボン等藻場保全にかかる啓蒙活動を実施

(3) その他の取り組み



①藻場保全

- リュウキュウスガモ等の保全活動として、種苗生産、海域への投入量増加を推進

②サンゴ礁保全

- 国の水産多面的事業により活動を実施
- サンゴ礁の種苗生産、有害生物の除去、定期的な各種モニタリング活動を実施